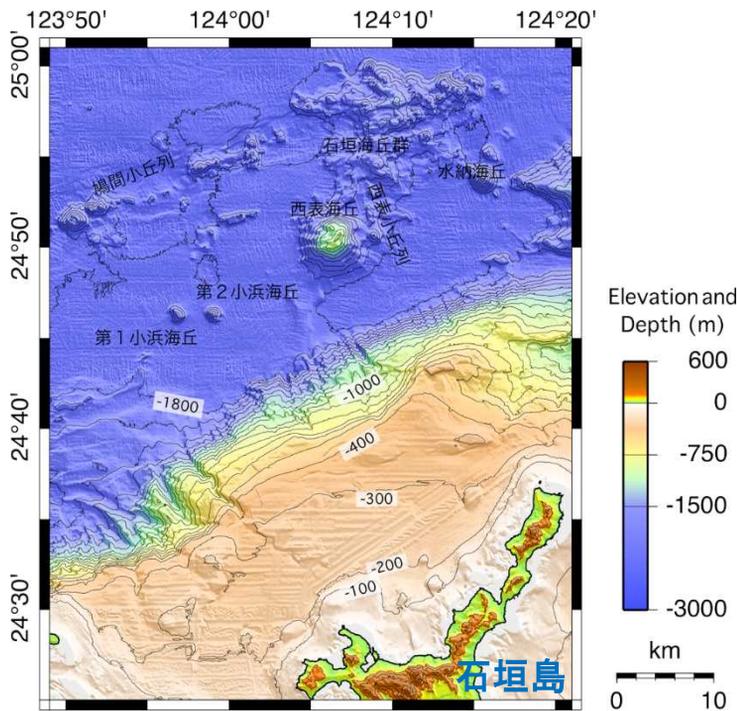


『活火山』八重山にもあるのです

私たちの暮らす八重山地方は、活火山とは無縁だと思いませんか。活火山とは、おおむね過去1万年以内に噴火した火山や、現在も活発な噴気活動のある火山のことです。現在、日本には**111**の活火山があり、沖縄県内には「硫黄島」（島全体が火山）と「西表島北北東海底火山」の**2**つの活火山があります。

西表島北北東海底火山(右図)は、今から**ちょうど100年前**の1924(大正13)年10月31日に噴火しました。翌日には付近の海面一帯に多量の軽石が漂流、その後、軽石は黒潮の流れにのり日本各地に流れ着いたとの記録があります。この記録は、黒潮の流れの速さや流路などを解明する一助となりました。

現在は静穏な状況で噴火の兆候は見られません。ただし、海底火山が噴火すると、津波が発生することがあり、甚大な被害が出る可能性があるため、注意が必要です。



西表島北北東海底火山周辺図

地図出典：海上保安庁

8月26日は火山防災の日！

「火山防災の日」は、明治44年の8月26日に、浅間山に日本で最初の火山観測所が設置され、器械を用いた近代的な観測が始まったことにちなんで、昨年制定されました。火山防災の日をきっかけに、火山への関心を高め、火山災害に備えましょう。

「火山防災の日」特設サイト
(気象庁ホームページ内)



防災気象情報は、テレビ・ラジオ・またはホームページから

石垣島地方気象台ホームページ <https://www.data.jma.go.jp/ishigaki/>

※ ホームページは、スマートフォン対応済みです。

お問い合わせ先：石垣島地方気象台 電話番号：0980-82-2159



気象庁マスコット
はれるん